

21世纪大学日语专业系列教材



7

新编日语听解

教与学参考书

主 编 陈俊英

审 订 [日]谷守正宽 陈多友

分册主编 张永平 朱绪芹



中国对外翻译出版公司

21 世纪大学日语专业系列教材

新编日语听解

教与学参考书

7

主 编 陈俊英

审 订 [日] 谷守正宽 陈多友

本册主编 张永平 朱绪芹

编 者 焦婷婷 钱展 于增辉 马兴芹 张永涛 汤春苹

审 阅 [日] 种村由季子



 中国对外出版社

• 北京 •

版权所有 侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

新编日语听解教与学参考书. 7 / 陈俊英主编; 张永平, 朱绪芹分册主编. — 北京: 中国宇航出版社, 2014. 9

21 世纪大学日语专业系列教材
ISBN 978-7-5159-0798-7

I. ①新… II. ①陈… ②张… ③朱… III. ①日语—听说教学—高等学校—教学参考资料 IV. ①H369.9

中国版本图书馆CIP数据核字(2014)第209605号

策划编辑 姜 军 赵 天
责任编辑 刘东雪

装帧设计 宇航数码
责任校对 满新茹

出版 中国宇航出版社
发行

社 址 北京市阜成路 8 号 邮 编 100830
(010) 68768548

网 址 www.caphbook.com

经 销 新华书店

发行部 (010) 68371900 (010) 88530478 (传真)
(010) 68768541 (010) 68767294 (传真)

零售店 读者服务部 北京宇航文苑
(010) 68371105 (010) 62529336

承 印 北京嘉恒彩色印刷有限责任公司

版 次 2014 年 9 月第 1 版 2014 年 9 月第 1 次印刷

规 格 787 x 1092 开 本 1 / 16

印 张 12 字 数 200 千字

书 号 ISBN 978-7-5159-0798-7

定 价 39.80 元

本书如有印装质量问题, 可与发行部联系调换

21世纪大学日语专业系列教材

主 编	陈俊英	(湛江师范学院)
副 主 编	李国宁	(湛江师范学院)
	孙淑华	(青岛理工大学)
	王 磊	(河南师范大学)
	张永平	(山东政法学院)
审 订	[日] 谷守正宽	(日本甲南大学)
	陈多友	(广东外语外贸大学)

编辑委员会 (以姓氏汉语拼音为序)

陈俊英	(湛江师范学院)
程国庆	(青岛大学)
洪伟民	(上海商学院)
司志武	(暨南大学)
王传礼	(韩山师范学院)
王 磊	(河南师范大学)
王玉芝	(河北师范大学)
徐永祥	(唐山师范学院)
于卫红	(内蒙古大学)
张继彤	(上海理工大学)
张金艳	(内蒙古师范大学)
张永平	(山东政法学院)
郑爱军	(青岛理工大学)

总 序

随着全球化时代的到来和我国与日本合作、交流领域的不断扩大,社会对复合型、实用型日语专门人才的需求逐年增加。为适应这种需要,近年来,我国设置日语专业的大学也在迅速增加,根据中国日语教学研究会2011年公布的信息,全国已有466所大学设立了日语专业。

然而,从教学实践来看,适用于培养社会所需的复合型、实用型日语人才的教材却不多见。为此,部分普通大学日语专业骨干教师萌发了合作编写一套实用型日语教材的想法。经过前期精心筹划和准备,以2010年初在湛江师范学院举办的“大学日语专业教学暨实用型教材建设研讨会”为契机,正式启动了本系列教材的编写工作。

一、本系列教材编写依据、原则和使用对象

本系列教材以教育部《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》和《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》(以下简称教学大纲)为指导,并参考了《高校日语专业四级考试大纲》和《高校日语专业八级考试大纲》以及日本国际交流基金等编《日本語能力試験出題基準》《新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集N1, N2, N3》《新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集N4, N5》等相关日语资格考试文献资料。

本系列教材以“学生好学,教师好教,贴近生活,注重实用”为编写原则,旨在帮助学生锤炼日语基本功,激发学习兴趣,学会学习;培养综合素质、实践能力、社会文化理解能力和跨文化交际能力;培养取得日语能力考试、专业四、八级考试等国际、国内日语资格证书的能力。

本系列教材主要适用于大学日语专业学生。根据学习或取得日语资格证书的需要,零起点或有一定学习基础的日语爱好者也可以从中任意选用。

二、本系列教材编写中的技术处理

为达到本系列教材的编写初衷,在编写时做了如下技术层面的处理:

在语法层面上,根据教学大纲要求和取得日语资格证书需要,将语法按日语能力考试N5~N1和专业四、八级考试水平由低到高分1~7级,并分别编入相对应的各册。为此,第1~5册分别相当于日语能力考试N5~N1水平,而前4册又相当于专业四级考试水平;第6~7册继续锤炼日语基本功,提高实践能力,充实文化知识,相当于专业八级考试水平。

在内容层面上,对各册的选材范围、主题、难易梯度等进行了整体设计和安排。例如,第1~2册主要涉及日本日常生活常识、基本礼仪习惯和学习方法等话题;第3~4册主要涉及日本社会、文化、商务礼仪、环保等话题。

三、本系列教材的构成和使用

本系列教材涵盖日语专业4门必修课程,包括《新编综合日语》《新编日语听解》《新编日语会话》和《新编日语读解》。《新编综合日语》为系列教材的核心和主线,其余分册既是《新编综合日语》的补充、内伸外延,又分别承担不同的任务,各具特色。简言之,分则独立,合则系统。

本系列教材中的《新编综合日语》和《新编日语听解》各为7册,均配有教与学参考书、音频文件,适用于1~7学期;《新编日语会话》为4册,配有音频文件,适用于1~4学期;《新编日语读解》为4册,适用于3~6学期。

四、本系列教材的特点

1. 吸纳优秀教材所长,链接社会实际需求,重视学生综合素质和“即战力”的培养。
2. 引导学生学会学习,学会做人,学会做事,学会认知,提高人文素质。
3. 反映国际、国内日语资格证书考试要求和水平,把学习和获取考试证书相结合。
4. 提供立体化教学资源包:教学PPT、网络资源和互动博客等。

本系列日语教材的问世,是集体智慧和通力协作的结晶。有湛江师范学院、上海理工大学、青岛理工大学、上海商学院、河南师范大学等十几所大学日语教师、同学和日本外教的辛劳和汗水;有日本鸟取大学、新潟大学等几所大学日语教育专家以及几位媒体资深记者的鼎力相助;有北京大学、北京师范大学、北京外国语大学、广东外语外贸大学等诸位专家在百忙中的热情支持;有著名外资企业高管提供的宝贵素材和相关建议;同时还从现有多种优质教材中吸收了大量养分。

中国宇航出版社作为国家级品牌出版社,积极投身于我国外语教学事业,对本系列教材的出版给予了热情帮助和大力支持,并将其列为出版社“十二五”规划教材。在此,谨对以各种方式关心、帮助、支持本系列教材出版的国内外各位学者、专家、同仁和同学们一并表示深深的敬意和谢意。

由于编者水平有限,经验不足,加之时间仓促,本系列教材难免会有不少疏漏和不尽如人意之处,恳请各位专家、同仁和同学们多多提出宝贵意见。

《21世纪大学日语专业系列教材》编写委员会

2011年7月

前言

《新编日语听解教与学参考书》是《21 世纪大学日语专业系列教材》主干教材《新编日语听解》配套教与学参考用书，共 7 册，分别和《新编日语听解》7 册中的各册一一对应。它作为《新编日语听解》的辅助教材，是根据教者和学者双方的需要而编写的，为此，适合于教师教学和学生学习两者使用。

本册是《新编日语听解教与学参考书》第 7 册，是在《21 世纪大学日语专业系列教材》编写组多次集体讨论的基础上，主要由山东政法学院编写完成。

本册每课主体由“スクリプト”和“正解”两部分组成，它们分别是《新编日语听解》第 7 册相应各课的录音原文和答案。选材主要针对日语专业学生专业八级考试以及就业需要，重视实际应用，课文采取对话和文章的形式，内容包括日本社会、文化、生活、政治、经济等多方面。注重培养学生的日语思维习惯，在听音前、听音中、听音后三个不同阶段，巧设问题，同时借助相关的语言背景知识，组织学生分组进行讨论，给学生提供积极参与的思维空间，让学生愉快思考，并引导他们正确运用日语思维，以提高思维的多样性和灵活性。

本册由张永平、朱绪芹任主编担任总体设计并完成统稿、定稿工作，山东政法学院焦婷婷、钱展、于增辉、马兴芹，山东财经大学张永涛、南阳师范学院汤春萃等人负责了具体编写工作。感谢陈俊英老师在编写过程中给予的指导和帮助，感谢西山尚志、种村由季子在审订、资料查找方面给予的大力协助。选材中采用了日本学者、作家以及不同领域专家的材料，利用了日语能力考试的部分资料，在此一并表示感谢。由于时间仓促、水平有限，编写过程中肯定会有不少欠缺或纰漏之处，希望各位专家、同仁和同学批评指正。

编者

2014年7月

目 录

1	第 1 課 余暇・レジャー
13	第 2 課 贈り物
27	第 3 課 学校の生活
39	第 4 課 子どもと教育
51	第 5 課 買い物をする
63	第 6 課 部屋とホテル
75	第 7 課 会社で
87	第 8 課 仕事の種類
99	第 9 課 スポーツ
111	第 10 課 運転と交通事情
123	第 11 課 町の建設
135	第 12 課 アルバイト
147	第 13 課 食生活
159	第 14 課 天気予報
171	第 15 課 電話をする

第1課 余暇・レジャー

一、重要表現

C Dを聞く前に、重要表現の意味を確認しておきましょう。

時差（じさ）	ある場所の標準時と別の場所の標準時との差。世界各地の時刻の差。
移る（うつる）	物がある場所から他の場所へ置きかわること。移動する。
心身（しんしん）	精神と身体。こころとからだ。身心。
満ちる（みちる）	いっぱいになる。余地なく詰まる。
潜在（せんざい）	表面に現れず、ひそみかかっていること。
調和（ちょうわ）	うまくつり合い、全体がととのっていること。いくつかのものが矛盾なく互いにほどよいこと。
涵養（かんよう）	自然に水がしみこむように徐々に養い育てること。
偏る（かたよる）	片方へ寄る。傾く。
怠惰（たいだ）	すべきことをなまけて、だらしないこと。
意欲（いよく）	積極的に何かをしようと思う気持ち。
コミュニティ	同じ地域に居住し、共属感情を持つ人々の集団。地域社会。共同体。
振興（しんこう）	ふるいおこして物事を盛んにすること。また、盛んになること。
内需（ないじゅ）	国内の需要。

二、重要文型

C Dを聞く前に、必要な文法の意味を確認しておきましょう。

1. ～てはじめて

前提条件を表す文型です。「～してから、（そのときになって）やっと～した」という意味と、「～という条件があって、はじめて～できる」という意味があります。

例文：

- (1) 日本に来てはじめて刺身を食べました。
- (2) 病気になってはじめて、健康のありがたさを知った。

三、会話

スクリプト

会話1

1. 喫茶店で男性と女性が話しています。二人はこれから何をするつもりですか。次の①②③④の中から一つ選んで○をつけてください。

男：今日はゆっくりできる？ドライブに行くか、映画でも一緒に見ようと思っていたんだけど。

女：ごめんなさい。実は今晚11時に国際電話がかかってくることになっているの。

男：国際電話って、誰から？

女：仕事の連絡よ。時差があるから、夜じゃないと連絡とれないの。

男：そうか。でも、夕食ぐらい一緒にする時間はあるだろう。

女：ええ、それはもちろん。

二人はこれから何をするつもりですか。

- ① 夕食をします。
- ② ドライブに行きます。
- ③ 国際電話をかけます。
- ④ 映画を見ます。

正 解

①

2. もう一度CDを聞いて、本文の内容と合っているものを、①②③④の中から一つ選んで○をつけてください。

- ① 二人は夫婦です。
- ② 男性は午後から会社に行きます。
- ③ 今晚11時に女性に国際電話がかかってきます。

- ④ 国際電話は恋人からの電話です。

正 解

③

会話2

1. ご主人と奥さんがデパートにやって来ました。二人はどの順番で回ることになりましたか。次の①②③④の中から一つ選んで○をつけてください。

男：さてと、古本市は7階だね。

女：でも、もう1時に近いわ。先にお昼にしない？

男：もうそんな時間か、じゃ、飯にするか。

女：食べたら、まず絵の展覧会に行こうよ。

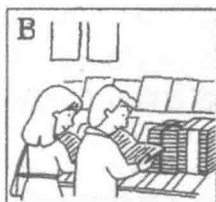
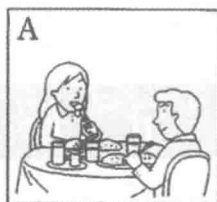
男：やあ、古本市に先に行こうよ。

女：だって、今日は絵を見に来たんでしょ。

男：けどさ、絵は売れたりはしないけど、本はほしいのがなくなっちゃうかもしれない。

女：そうね。じゃ、あなたの言うとおりにしよう。

二人はどの順番で回ることになりましたか。



① A—B—C

② A—C—B

③ B—A—C

④ B—C—A

正 解

①

2. もう一度CDを聞いて、本文の内容と合っているものを①②③④の中から一つ選んで○をつけてください。

- ① 二人はもう食事をしました。
- ② 今はもう1時になりました。
- ③ 二人は古本屋で好きな本をたくさん買いました。
- ④ 二人はまず食事をすることにしました。

正 解

④

会話3

1. 男性が、旅行の誘いに電話で返事をしています。男性はどうするつもりですか。次の①②③④の中から一つ選んで○をつけてください。

男：ああ、もしもし、あっ、山田さん、このたびはどうもお誘いいただきありがとうございます。やあ、私みたいにほかの会社に移ったものまでねえ。いろいろ気を使っていただいて。それで、あのう、今年はせっかくですから参加しますけど。ええ、これからは本当にお気を使わないでください。ええ、もう私は別の会社の人間ですしね。そちらが大変ですよ。まあ。来年から…。

男性はどうするつもりですか。

- ① 今年も来年も行くつもりです。
- ② 今年も行きますが、来年からは行かないつもりです。
- ③ 今年も来年も行かないつもりです。
- ④ 今年には行きませんが、来年からは行くつもりです。

正 解

②

2. もう一度CDを聞いて、本文の内容と合っているものを、①②③④の中から一つ選んで○をつけてください。

- ① 男性は山田さんです。
- ② 男性は旅行が好きです。
- ③ 男性は転職するのが好きです。
- ④ 男性は別の会社に入りました。

正 解

④

四、文章

(一) 聞く前に

1. 背景知識

CDを聞く前に、読んでおきましょう。

仕事から解放された自由な時間を「余暇（レジャー）」といいます。日本では第二次世界大戦が終わってから、労働時間が少しずつ短くなって、余暇が増えてきました。土曜日が休みの会社も多くなりました。また、一年間に二週間くらいの有給休暇や四、五日の夏休み、正月休みもあります。一九六〇年代から始まった経済の高度成長の結果、勤労者の収入も増え、生活にゆとりが出てきました。そのため、余暇の活動も支出に回すことができるようになりました。それで、余暇の過ごし方も変わりつつあります。

余暇の過ごし方は人によって違います。社会福祉などのボランティア活動に参加している人もいますが、だいたいスポーツ、稽古事、旅行、読書、ゲーム、ギャンブル、友人との交際、園芸、コレクション、手芸、釣り、家庭内団欒、テレビ、ラジオの視聴などに分かれます。

しかし、余暇を十分に活用できていない人たちもいます。特に働き盛りの人たちの場合です。有給休暇も半分ぐらいしか取らず、暇な時も家で休養するだけという人が少なくありません。生活が仕事中心に進んでいるために余暇を十分に楽しめないでいます。仕事と余暇活動を両立させることはなかなか難しいようです。

2. ディスカッション

もう一度背景知識を読んで、次のテーマについてグループで討論しましょう。

中国においても、経済の発展に伴って人々の生活が豊かになり、余暇も増えてきました。中国人の余暇の過ごし方について、あなたの意見を自由に述べてください。

(二) 聞いてみましょう

スクリプト

余暇において、人々は自然を体験し、心身を解放し、他人と交流することができる。こうした多様な経験を通じてはじめて、個人の生活が充実し、活力に満ちた創造性豊かな社会が形成され、その持続的な発展が可能となる。この中でも特に、自然とのふれあいは、生物としての人間が、その潜在的能力を発展させる基本であり、また、自然や社会といった環境と個人との調和を体感し、環境に配慮できる人間性を涵養する貴重な機会である。

また、人生 80 年の時代を迎え、長い人生を豊かなものとしていくためにも、その 3 分の 1 を占めると見込まれる余暇を充実させていくことが不可欠である。長期的な視点から見ても、生涯の生活時間のバランスを取り戻し、職場中心に偏った生活から、個人の生活、家庭や地域との繋がりをより重視するバランスの取れた生活への転換を図ることは重要な課題である。一部にある「余暇の拡大は国民の勤勉性を失わせるのではないか」という意見は、生活の充実をめざす余暇を、怠惰と誤解しているものである。

さらに、社会的な観点から見て、余暇を充実させることは、一人一人が一層多様な自己実現の機会を創造することを通じて、個性と創造性の豊かな社会をつくりあげることでもある。勤労意欲の向上や学習・技能習得機会の確保等を通じて、社会にとって魅力ある人材を育成することにもなり、高齢者の健康管理、生きがいづくりに大きな役割を持つ。さらに、地域においても、余暇活動を通じて多

様な人間関係が織りなされ、地域コミュニティの形成、地域文化の発展、継承をはじめ、地域の様々な問題に取り組む機会が創出される。

このほか、余暇の充実、社会資本の充実や民間投資の拡大等を通じての地域経済の振興や、余暇関連支出の増大による内需中心の調和の取れた経済成長にも寄与すること、ひいては国際社会でより良く理解されるゆとりある日本人像の形成に資すること等にも注目する必要がある。

1. 本文は余暇の必要性を中心に説明しています。次の①②③④の中で、本文で説明されていないのはどれですか。正しい答えを一つ選んで○をつけてください。

- ① 余暇は人間性を涵養する貴重な機会です。
- ② 余暇は人と人との交流に役に立ちます。
- ③ 余暇は豊かな生きがいづくりに大きな役割を持っています。
- ④ 少しばかりのお金と時間さえあれば、多少の贅沢な余暇を過ごすことができます。

正 解

④

2. 本文の内容と合っているものに○、違っているものに×をつけてください。

- ① ネットの利用が盛んなので、余暇などの過ごし方は考えなくてもいいです。(×)
- ② 人生 80 年の時代を迎え、長い人生を豊かに送るために、余暇の過ごし方はとても重要です。(○)
- ③ 余暇(レジャー)とは、解放された時間であり、何もののにも拘束されない生活のことです。(×)
- ④ 産業・経済効率優先に偏った社会システムを見直すとともに、国民の余暇活動を支援することが今後の課題です。(×)

正 解

以上の通り

(三) 書いてみましょう

1. 下線部の空欄を埋め、文章を完成させてください。

また、人生 80 年の時代を迎え、長い人生を豊かなものとして①いくためにも、その3分の1を占めると見込まれる②余暇を充実させていくことが不可欠である。長期的③な視点から見ても、生涯の生活時間のバランスを取り戻し、職場中心に偏った④生活から、個人の生活、家庭や地域との繋がり⑤をより重視するバランスの取れた生活への転換を図ることは重要な課題である。一部にある「余暇の拡大は国民の勤勉性を失わせるのではないか」という意見は、生活の充実をめざす余暇を、怠惰⑥と誤解しているものである。

正 解

- ① 豊かなものとして
- ② 見込まれる
- ③ 長期的
- ④ 偏った
- ⑤ 家庭や地域との繋がり
- ⑥ 怠惰

2. 次の質問に答えてください。

(1) 余暇とはなんのでしょうか。本文の内容を参考にして、自分の言葉で述べてください。

正 解

余暇とは余ったひまな時間。仕事の合間などの自由に使える時間、または一日のうち労働の合間に生じる空いた時間、休息時間などの意味を表します。

(2) 自然とのふれあいは人間の発展にどんな効果がありますか。本文を参考にしてあなたの意見を述べてください。